

受講無料!

SOS「助けて」が言えないこどもたち ～市販薬と大麻の乱用・依存を例に～

講師：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部
心理社会研究室長 嶋根卓也 先生

研修方法：限定公開動画視聴によるオンライン研修

視聴期間：2024年3月17日(日)～4月13日(土)

申込画面：<https://forms.gle/fLoWFY89P1tdG4W38>

下の二次元コードからもお申込みいただけます。(〆切:3月7日)

市販薬依存は、近年深刻な問題となっています。国立精神・神経医療センターの調査によると、市販薬を主たる薬物とする依存症患者は、2012年から2020年にかけて約6倍に増加しています。鎮咳去痰薬、総合感冒薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、抗アレルギー薬、眠気防止薬などの市販薬の乱用・過量服薬による救急搬送は、2倍になっています。

市販薬依存には、適切な医療や回復支援が必要です。身近な市販薬・処方薬の依存について、医療・教育・支援の現場から考えることで、それぞれの立場での支援方法や連携について考えることができます。本研修では、市販薬依存に加え大麻依存の幾序と支援についても学びます。

問合せ先：東京社会福祉士会事務局

TEL：03-5944-8466

MAIL：tachinaori.kensyu@gmail.com



休眠預金を活用した事業です

自然災害の発生、通信状況により、やむを得ず本研修の開催を中止する場合があります。中止の判断基準は、東京社会福祉士会 HP の「[自然災害等発生時の研修及び行事等の開催についての判断基準\(ガイドライン\)](#)」をご参照ください。

「立ち直りを支える地域支援ネットワークづくり事業」は、休眠預金を活用した助成金を得て実施しています。